

令和3年度 授業改善推進プラン 成果と課題

担当教科（ 英語 ） 学年（ 1 ）

目指す授業

- ・生徒全員が達成感を味わうことのできる授業を行う。



授業・アンケート等の課題分析

- ・おおむね肯定的な回答が多かったが、わかりやすさと楽しさに関しては相対的に否定寄りの回答だった。



成果と課題

成果

- ・多くの生徒が積極的に学習活動に取り組み、学び合い活動を通して表現の幅を広げることができた。

課題

- ・わかりやすく楽しい授業にするために、わからせることと、わかったことを実感させてフィードバックすることが大切だと考える。
- ・そのために、スモールステップ、学び合い、振り返りを継続する。特に振り返りは時間がなくて行わなかったこともあるため、今後は振り返り時間を含めた授業計画をする。

令和3年度 授業改善推進プラン 成果と課題

担当教科（ 英語 ） 学年（ 2 ）

目指す授業

- ・生徒全員がわかる授業を行う。
- ・生徒全員が達成感を味わうことのできる授業を行う。



授業・アンケート等の課題分析

- ・めあてと振り返りの回答を比較すると、振り返りの方が否定的な回答が多い。
- ・めあては毎回必ず提示していたはずだが、否定的な回答もあった。
- ・おおむね肯定的な回答が多いが、学ぶ楽しさに関する回答は相対的に否定的な回答が多い。



成果と課題

成果

- ・多くの生徒が自分の考えを発表する機会を通して表現の幅を広げることができた。

課題

- ・めあてを提示するだけでなく、それがめあてであることを実感させるための導入活動を効果的に行う必要がある。
- ・わかりやすく楽しい授業にするために、わからせることと、わかったことを実感させてフィードバックすることが大切だと考える。
- ・そのために、スモールステップ、学び合い、ふり返りを継続する。特にふり返りは時間がなくて行わなかったこともあるため、今後はふり返り時間を含めた授業計画をする。

令和3年度 授業改善推進プラン 成果と課題

担当教科（ 英語 ） 学年（ 3学年 ）

目指す授業

- ・「楽しい」「分かる」と思える授業
- ・達成感を味わうことのできる授業
- ・生徒同士による学び合いのある授業



授業・アンケート等の課題分析

『授業が「わかった」「できた」と感じる機会がある』『学ぶ楽しさがある』と回答する生徒がやや増加した。また「学び合う活動を通して、自分の表現の幅を広げることができている」と全員が回答している。一方で10%の生徒が板書やワークシートがやや分かりづらいつ感じている。



成果と課題

成果

- ・コミュニケーションが制限されるなか、「学び合いを通して表現の幅を広げられた」と感じる生徒が100%だったのは、英語劇や自己表現活動によるところが大きいと思われる。
- ・仮定法や現在完了進行形といった新たな学習項目が加わった上に、英文の量が増える中、読解が生徒の負担とならないようなワークシートの作成を心がけた。「分かりやすい」と感じる生徒が微増した理由の一つであると考えられる。

課題

- ・「学ぶ楽しさを感じる」とあまり思えない生徒をゼロ%にできなかった。それぞれの習熟度のなかで生徒が達成感を得られるような授業を展開していくことが課題である。
- ・生徒の振り返りを形成的評価として、授業改善に有効に活用していくことが課題である。